

## 太陽光発電設備「そらべあ発電所」を 東日本大震災被災地の幼稚園・保育園に寄贈します。

—「第16回そらべあスマイルプロジェクト～ご当地版・被災地支援編～」の公募を開始—

2011年11月1日、NPO 法人そらべあ基金(代表理事・市瀬慎太郎)は、東日本大震災で被災した地域の中で特に被害の大きかった3県(岩手、宮城、福島)の幼稚園・保育園に太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈する「第16回そらべあスマイルプロジェクト～ご当地版・被災地支援編～」(※1)の募集を開始します。

そらべあスマイルプロジェクトでは2008年の始動当初から全国の幼稚園・保育園を対象に太陽光発電設備を寄贈してきました。3月の東日本大震災以降、電力についての考え方は社会的に大きく変わり、安心して使えるエネルギーの重要性が高まっているなか太陽光発電設備の寄贈が一層の再生可能エネルギー普及の契機となることを切に願います。

第16回目となる同プロジェクトは、被災地支援として、東日本大震災の被災地の幼稚園・保育園を対象に実施します。今回は、ソニー損害保険株式会社の協賛をいただき、同社運営の「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」で集まった寄付金を元に3基の太陽光発電設備を寄贈します。

寄贈する太陽光電池モジュールは、株式会社ホンダソルテックのCIGS薄膜太陽電池モジュールを使用します。なお、同社の寄付で寄贈された太陽光発電設備は今回で合計8基となります。

そらべあ基金では、第1回から第15回までで累計28基の太陽光発電設備を全国の幼稚園・保育園に寄贈してまいりました。これからも、より多くの子供たちに環境保護の大切さを学んでもらえるよう努めると同時に、再生可能エネルギーの創出と普及に取り組んでまいります。

### 【第16回そらべあスマイルプロジェクト 実施概要】

寄贈先: 岩手県、宮城県、福島県

募集期間: 2011年11月1日(火)～11月30日(水)※必着

寄贈数: 3基

応募方法: 申込書類一式に必要事項をご記入いただき、申込データを当事務局までメールにてお送り下さい。

選考結果の最終発表: 2012年1月～2月予定

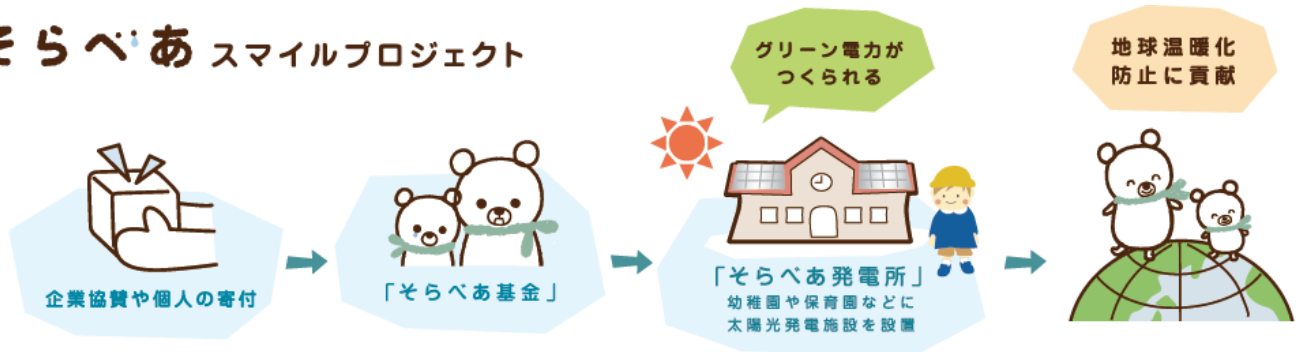
寄贈時期: 2012年3月予定

※応募要件などの詳細はそらべあホームページをご覧ください。

URL <http://www.solarbear.jp/>

(※1)「そらべあスマイルプロジェクト～ご当地版～」とは、寄贈する地域を限定して募集する「そらべあスマイルプロジェクト」

## そらべあ スマイルプロジェクト



■「幼稚園にソーラー発電所を☆プログラム」とは ソニー損害保険株式会社による「ほんの少しだけ、地球にやさしいカーライフをしてみよう」というエコアクションのご提案です。私たちの生活で無くてはならないクルマとのかかわりを「ほんの少し」見直してみて、地球環境への負荷を少しでも軽減していこうというプログラムです。具体的には、ご契約者の皆様に ECO を意識したカーライフを心がけていただきます。その結果、予想走行距離(契約距離区分)より、「実際に走った距離」が少なかった場合、クルマの運転による CO2 排出量が予想より減りますので、ご契約者は環境保全に貢献されたと考えます。ソニー損保では、ご契約者の環境保全への貢献に呼応する形で、予想より走らなかった距離「100km につき 1 円」の寄付(※)を「そらべあ基金」に行い、全国の幼稚園・保育園に太陽光発電施設を設置していきます。

※ お客様から寄付をしていただくのではなく、ソニー損保が寄付を行います。

※ くりこし割引は従来どおりで割引額には変更ありません。

※ 詳細は、ソニー損害保険株式会社のエコロジーサイト(<http://ecology.sonysonpo.co.jp/>)をご参照ください。

■ そらべあ基金とは ホッキョクグマのキャラクター「そらべあ」をシンボルに、地球温暖化防止のため、風や太陽のエネルギーを使って発電されたグリーン電力の普及活動や、未来を担う子どもたちへの環境教育を行う NPO 法人です。

■「そらべあ」とは 地球温暖化の影響で北極の氷が割れ、お母さんグマと離ればなれになってしまったホッキョクグマの兄弟「そら」と「べあ」。キャラクターデザインは、Shinzi Katoh の手によるものです。

【問い合わせ先】そらべあ基金事務局(担当: 矢名葉・沼田・三澤)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-9-7 岡本ビル 3F

TEL 03-3251-5454 FAX 03-5256-7344 E-mail [info@solarbear.jp](mailto:info@solarbear.jp)



© Shinzi Katoh